

# どんぐり通信

発行者 飯塚市庄内生活体験学校

年度末特別号



令和元年度の体験合宿事業は、通学合宿を2回、生活体験合宿を18回実施しました。今年度は、新型コロナウイルス感染防止対策で、3月に実施予定だった生活体験合宿19班・20班が中止になりました。今年度の事業の変化としては、事前研修の対象を4年生以上にしたこと、2,3年生だけで編成した生活体験合宿を実施したことです。事前研修を4年生以上にすることで、1泊2日の当日に、低学年に係の仕事内容を教え、リーダーとしての意識を芽生えさせることができました。また、参加者総数の6割を占めている低学年だけの班を編成することで、上級生に集中した班編成することができました。

相互理解と連携強化の課題 - 年度の終わりにあたって -

飯塚市庄内生活体験学校 館長 正平 辰男

今年は、飯塚市庄内生活体験学校を運営する指定管理者として、1期5年の最後の年にあたり、今月が最後の月にあたります。指定管理者となったのは、特定非営利活動法人体験教育研究会ドングリ（理事長 正平辰男）であります。早くも5年が終わろうとしています。さらには、令和2年度を初年度として、令和6年度までの5年間、指定管理者として飯塚市庄内生活体験学校の管理運営にあたることを認めていただいております。いうまでもなく生活体験学校の事業の柱は、通学合宿（6泊7日）と生活体験合宿（1泊3日）の宿泊体験事業であります。もう一つの柱は、3年前から始めた幼児の野外生活体験活動支援であります。この新しい柱は、長年の課題だった生活体験学校の平日昼間の活用を拡大することに貢献しております。この二つの柱をつなぐ事業が、子どもゆめ基金やキューピーみらいたまご財団をはじめとする外部からの助成金による事業であります。これまで少なからぬ助成金をいただいて進めてきた事業の一つが、野菜作りの事業です。地元の篤農家の指導を受け無農薬による野菜作り体験を続けてきました。幸い多くの参加者を得て野菜作りへの興味関心を高めることができいております。のみならず、宿泊体験事業にも幼児の生活体験活動支援事業にも深く関連を持ちながら伸展しております。宿泊体験事業に参加する児童の食材として野菜の供給は十分な質量を確保できています。幼児の生活体験活動支援事業においても、サツマイモをはじめとする、野菜作り・収穫体験はなくてはならない体験活動になっております。宿泊体験事業と幼児の生活体験活動支援事業、この二つの事業にリンクする助成金による野菜作りなどの事業、この三つの事業を一体的に発展強化していく必要があります。その根底には、私どもと保護者、そして学校との相互理解の深化と連携強化が図られなければなりません。今後とも関係各位のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。



菜園のサツマイモの手入れ

## 【参加者の感想】

◇ 料理を作る事はとても大変だ 野見山玲奈  
 ポテトチップスなどをあげる時に、最初は泡がたくさんになるけど、泡がなくなったらあげていいことがわかりました。ピザなどは生地を広げて、丸めたらもう伸びないことがよくわかりました。料理を作る事は、とても大変だということがわかりました。

◇ 手を切らないように 伊藤悠伽  
 野菜を切る時は、手を切らないように気を付けてきました。

(左上) シイタケ栽培場手入れ  
 (左下) 下級生に係紹介 (右) そうめん流し



## 令和元年度 各種事業紹介

### 防災合宿

12月、1月に2回実施しました。計画では3月にも実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止しました。新しくビニール袋を使ってご飯を炊く体験もしました。



薪でお湯を沸かす



麺と大豆を混ぜ、玉にする

### 味噌作り体験講座

純真短期大学から津村先生をお招きして実施しました。昨年作っておいた味噌を使ってダゴ汁を作る体験もしました。



### どんぐりコロコロ

3歳未満の幼児とその親を対象にした事業です。本年度は、5月、7月、9月、12月と4回行いました。



広場で水遊び

### 食育実践演習

野菜作りの講座です。作る野菜の種類が増えました。無農薬で作る野菜を調理して食べました。



キュウリの収穫

## 【問い合わせ先】

飯塚市庄内生活体験学校（指定管理者：NPOドングリ）

〒820-0111 福岡県飯塚市有安958-1

TEL：0948-82-3188 FAX：0948-82-2780

mail：taiken.sch@oks.or.jp

HPはこちら▶



## 幼児の 野外活動支援

野外生活体験活動支援の取り組みは、29日間（28回）の支援活動を行い、幼児の参加者は1,279名に達しました。活動内容で一番多かったのは、サツマイモの植付・収穫、石焼きイモ作りでした。その他、玉ねぎ・ジャガイモ・落花生の収穫、そうめん流し（ヒノキ作りの流し板を使って）、ピザ焼き、里芋の皮むき、落ち葉プール体験もしました。どの体験の場合も、飼養しているヤギやうさぎのエサやり体験を合わせて楽しんでいました。里芋の皮むき体験は、生活体験学校で栽培している里芋を掘って、バケツとイモ洗い棒を使って懸命に皮むきに挑戦しました。洗いあがった里芋は、園に全量持ち帰りました。お泊り保育も1回受け入れました。本年度から初めて園児の送迎バスの使用料を予算計上していただきましたので、バスに乗って生活体験学校に行けることも園児に大変喜ばれました。広報活動として、4月17日、県立飯塚研究開発センターで開かれた私立保育園々長会議に出席してポスターの掲示をお願いしました。



芋洗い棒で里芋を洗う



落花生の収穫



ウサギ囲いで動物ふれあい